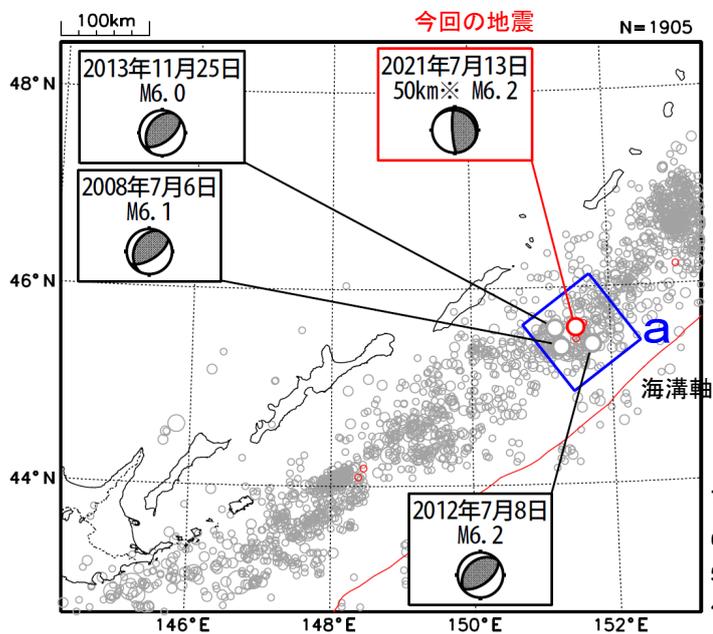


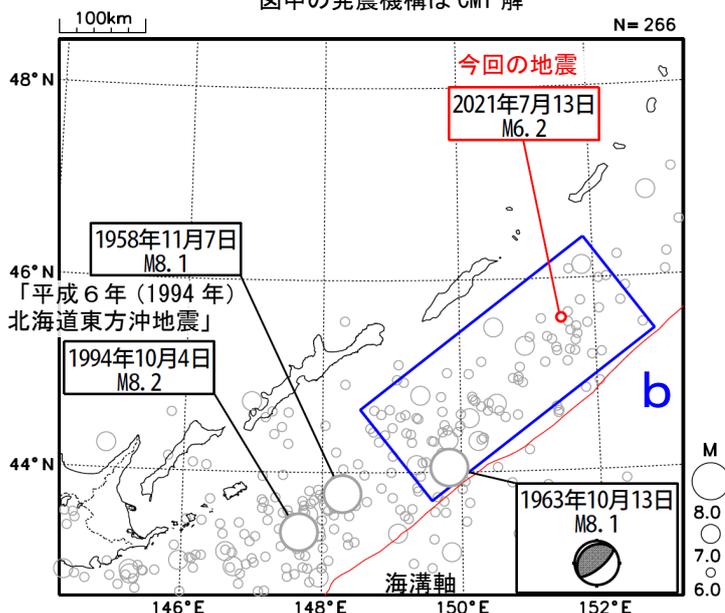
7月13日 千島列島の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2021年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$)
2021年7月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



※深さはCMT解による

震央分布図
(1919年1月1日～2021年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)
2021年7月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解

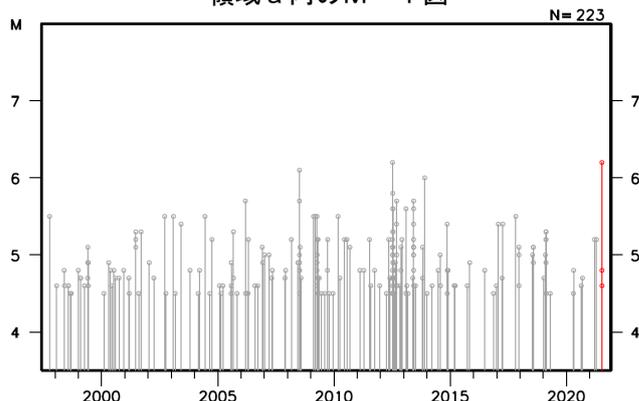


2021年7月13日09時30分に千島列島の深さ50km(CMT解による)でM6.2の地震(国内で観測された最大の揺れは震度2)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ型であった。

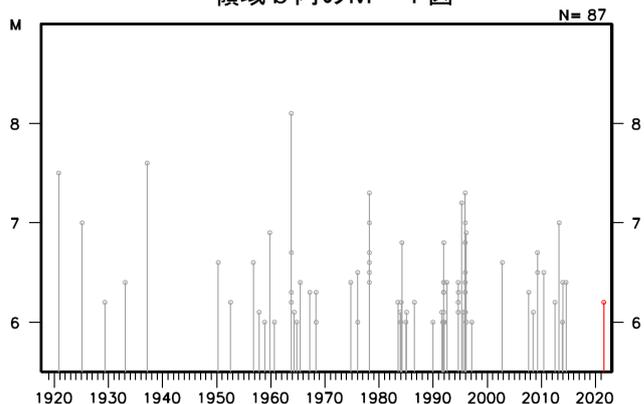
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、今回の地震の他にM6.0以上の地震が時々発生している。2012年7月8日に発生したM6.2の地震では、日本国内で震度1の揺れを観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M7.0以上の地震が時々発生している。1963年10月13日の択捉島南東沖の地震(M8.1)では、北海道及び東北地方から四国地方にかけての太平洋沿岸で津波が観測され、根室市花咲で最大の高さ74cmの津波を観測した。この津波により、三陸沿岸で漁業施設に軽微な被害が生じた(日本被害地震総覧による)。

領域a内のM-T図

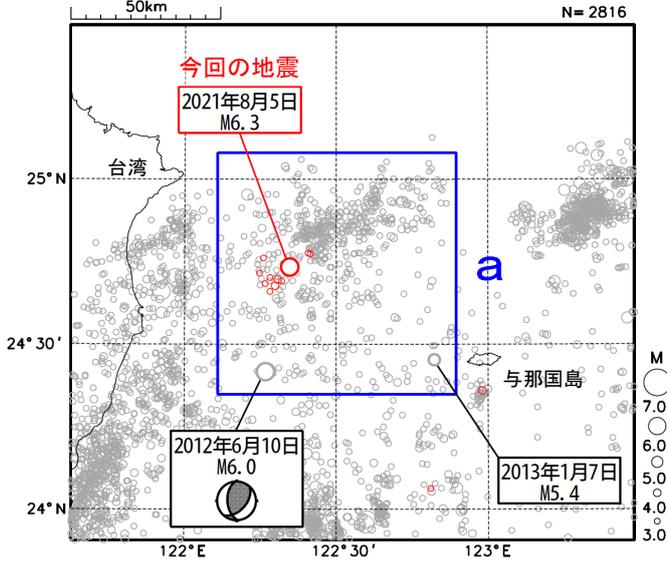


領域b内のM-T図



8月5日 台湾付近の地震

震央分布図
(2009年9月1日～2021年8月5日、
深さ0～90km、 $M \geq 3.0$)
2021年8月5日の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

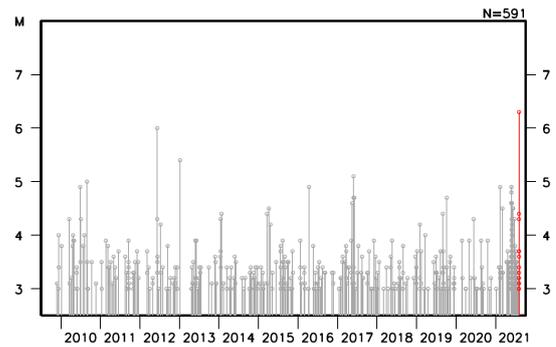


2021年8月5日06時50分に台湾付近でM6.3の地震(最大震度3)が発生した。

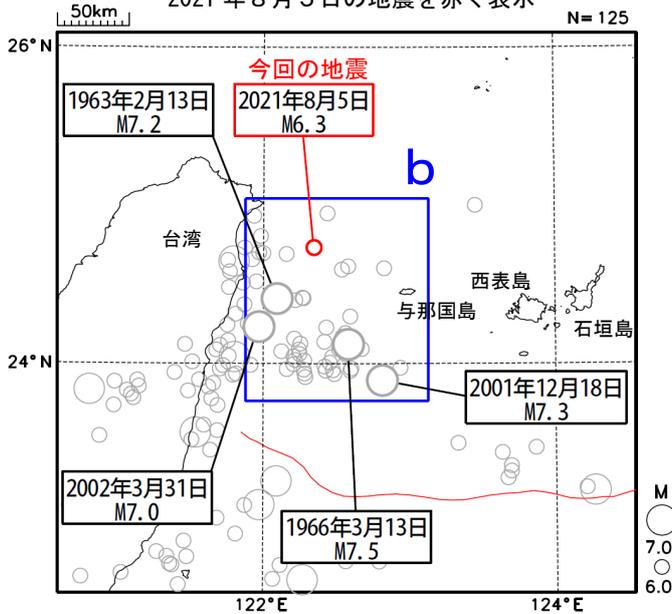
2009年9月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M4.0以上の地震が時々発生している。M6.0以上の地震では、2012年6月10日にM6.0の地震(最大震度3)が発生している。

1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震が時々発生している。1966年3月13日に発生したM7.5の地震では、与那国島で死者2人などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。また、2001年12月18日のM7.3の地震(最大震度4)、及び2002年3月31日のM7.0の地震(最大震度3)では、共に与那国島久部良で12cmの津波を観測した。

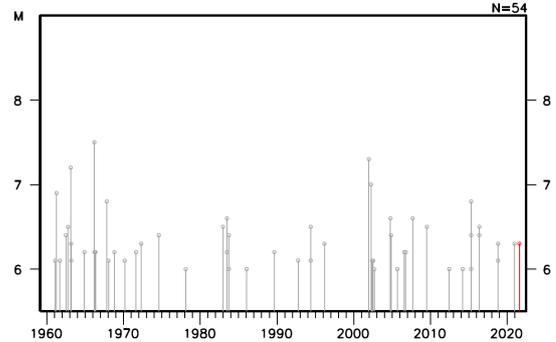
領域a内のM-T図



震央分布図
(1960年1月1日～2021年8月5日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
2021年8月5日の地震を赤く表示



領域b内のM-T図



赤線は海溝軸を示す。

※本資料中、2000年6月までの震源要素はISCHEMによる。2000年7月以降の震源要素は気象庁による。